

**製品名:** リン酸化カンナビノイド受容体 I (Ser316) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe01754

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 53 kDa; Observed MW: 53 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	CNR1
別名	CNR1; CNR; Cannabinoid receptor 1; CB-R; CB1; CANN6
遺伝子 ID	1268
SwissProt ID	P21554
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

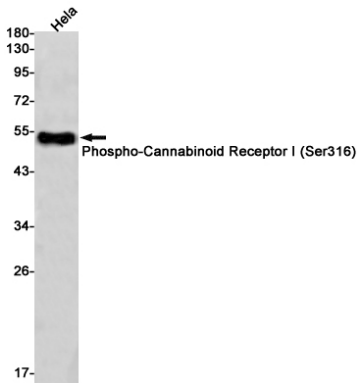
この遺伝子は、2つのカンナビノイド受容体のうちの1つをコードしています。カンナビノイド、主にデルタ-9-テトラヒドロカンナ

ビノールとその合成類似体は、マリファナの精神活性成分です。カンナビノイド受容体は、グアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体ファミリーに属し、用量依存的、立体選択的、かつ百日咳毒素感受性の様式でアデニル酸シクラーゼ活性を阻害します。これら2つの受容体は、マリファナ使用者が経験するカンナビノイド誘発性中枢神経系作用（気分や認知機能の変化を含む）に関与していることが明らかになっています。この遺伝子には、2つの異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが報告されています。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



ホスホカンナビノイド受容体 I (Ser316) 抗体を使用した HeLa 溶解物中のホスホカンナビノイド受容体 I (Ser316) のウェスタンブロット分析。